

「気にかけてあうまちをつくる ～多世代交流の実践～」

福祉施設の側から地域に開き、地域の人とゆるやかに出会う環境を作ること、分断されていた日常が重なり、にじみあう。

高齢者や乳幼児はケアされるだけでなく、地域の人たちを力づける存在となり、お互いの営みが暮らしの一部になる。

そんな未来の風景を、福祉と地域コミュニティという観点からお話します。

町では高齢者福祉センター「寿楽」の改修工事を予定しています。1階を多世代交流拠点と学童保育クラブ、2階を高齢者福祉センターとしてリニューアルします。町民の皆さまと共に新たな居場所をつくるためのヒントを探ります。ぜひご参加ください。

日時 1月28日(土)

会場 瑞穂町役場

13:30～15:00

庁舎1階ホール

定員 50名

参加費無料



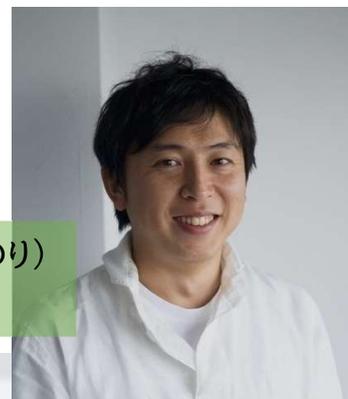
講師
馬場 拓也 (ばば たくや)
社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事

1976年生まれ。大学卒業後、ジョルジオアルマーニジャパン株式会社入社。トップセールスマンとして活躍した後、2010年に現在の法人に2代目経営者として参画。2016年、地域との隔りである特養を囲う壁を取り払い、空間デザインから地域との精神的『距離』を縮めるべく、若手建築家・造園家・大学生らと企画した「距 Re デザインプロジェクト」を推進。地域のだれもがアクセス可能な「ミノワ・座・ガーデン」を完成させる。2017年、公民館を拠点にまちの暮らしを考える多世代ワークショップ「あいかわ暮らしラボ」を設立。2018年、日本社会事業大学大学院専門職修士課程修了。2022年、住宅街のなかの荒廃するスーパーマーケット跡地にて、高齢者・障害者・児童・地域をつなげる地域共生文化拠点「春日台センターセンター」+洗濯デリバリー事業「洗濯文化研究所」をオープン。著書に「壁を壊すケア-気にかけて合う街をつくる-(岩波書店/2021)」がある。

1974年生まれ。大小さまざまな設計活動を進めながら、自ら経営や運営に携わり、日本各地のまちづくりや都市経営、公民連携にも積極的に関わる。「瑞穂町図書館改修工事(2022)」を手掛け、9月より「瑞穂町高齢者福祉センター改修工事(R7完成予定)」に着手。



聞き手 三浦 丈典 (みうら たけのり)
建築家 スターパイロット代表



☆お申込み☆

瑞穂町 高齢者福祉課

住所:瑞穂町大字箱根ヶ崎 2335 番地

【電話受付】

TEL042-557-7623

【WEB受付】

